

●分科会「まちづくりトーク」

これからのまちづくり  
白根の良さを大切に

■産業(農・工・商)振興  
農・工・商業者が  
一致協力してつくり

産業(農・工・商)振興の分科会には市民13人(男11人、女2人)が出席。市からは竹内市長が出席しました。「農、工、商業者がつながりを持って発展を」、「ネットワークの核になる機関が必要」など、各種産業が一体となった発展について議論が白熱しました。

5月1日号に引き続き、市民フォーラム分科会「まちづくりトーク」(3月5日・カルチャーセンター)の内容をご紹介します。

分科会のテーマは「産業(農・工・商)振興」と「開発、生活環境づくり」の2つ。第4次総合計画の作成に向けて、参加した市民からはさまざまな意見が出されました。

機関が一つ必要でしょう。組織間で、ノウハウや情報を交換できますから。  
B 確かに今のままでは商工会、農協などのイベントもばらばら。つながりを持たないと、町の人もっと農家を知らず、商店も大いに農家の応援をしていくことが大切です。  
A 白根は過小評価されていますが、農産物をはじめ良い物はいっぱいある。市民がもう一度白根を見直す必要があります。次の総合計画ではネットワークづくりが大切です。地区意識はもう解消されるべきでしょうね。

■開発・生活環境づくり  
白根らしさを  
生かした街並みを

「開発、生活」の分科会には市民18人(男16人、女2人)が出席。市からは高橋収入役が同席しました。開発・生活という大きなテーマに対し、「白根らしい街並みにしていこう」、「市民全員で参加できるイベントを」など、さまざまな意見が出されました。

司会 今後の白根市の開発や生活環境について意見を出していただきたいと思います。

司会 白根市の産業、農・工・商業について、皆さんは普段、どのように考えていますか。  
A 白根市では農業と商工業が分離傾向にあるように感じます。もともと両方のつながりがあるといいと思うんですが。  
B 私も農業、工業、商業のバランスが取れていないように感じます。市内には素晴らしい農家がたくさんある。この農業をどう生かしていくかが、商業者のこれからの課題でしょう。  
C 行政側の観光政策と産業政策がばらばらなんです。これからは一体となって二十一世紀を展望していく必要があります。  
D 産業の発展のために、空間のあるいいまちづくりを目指すべきです。商店街でも商業者のためのだけの街ではだめだと思ふ。

司会 皆さん、産業のタイアップを考えているようですが、まず農業面から考えてみましょう。  
E 今、農業は、輸入米が入ってきて、後継者がいなくて。だからといって絶対大農業が良いとは言えないと思うんです。  
F 若い人がいるような事情で農業に従事できず、委託的な形態が増えています。受け入れの方も大変です。共同防除なども人手が足りなくなる。リストラ、大規模化も一部大事でしようが、デメリットもあるようです。  
B 後継者がいないのは、自分がしたくないという思いがあるから。これは商店も同じですけど。  
必死になってやっている農家は嫁もいるし、後継者の悩みなどない。そういう農家を大事にしたい。そういって農家を大事にしたい。農業は技術的なことは進んでいて、農家もそれについていけない。でも販売するノウハウがない。それを商工業と共に考えるべきだと思ふ。  
G 白根ブランドとしての販売は、東京や新潟市など、「いい物が欲しい」という人が大勢いる



所でやった方が成り立つ。地元で売ってもコストを下げなければ売れませんから。工業製品を含めて白根市はPR不足です。  
D 主婦の立場から言わせても、例えば、白根は農業が盛んという割には、スーパーへ行っても外国産ばかり。白根の良い物が案外、市場に出回っていないんですよ。  
B 白根の農家の作るものは最高にうまい。でも農協に出すときは、数合わせのため最高のものを出しているとはいえない。それで自分で自分の首を絞めてしまっている。自分で販売して客の反応を見れば、考えも変わるかもしれない。売り方やPRを工夫しなければ、白根を平仮名の「しろね」にしてイメージアップを図るとかね。  
C 大風と歴史の館での農産物の販売を考えた、「あそこでも売っても商売にならない」という農家もいる。観光と農産物をうまくドッキングさせ、育てていくような政策が必要です。  
B やり方次第で風と農産物を結び付けることは簡単です。

例えば東京の人を風合戦に呼んで、午前中は果樹のせん定などをして、午後は風合戦に参加してもらおう。秋になったら自分たちが手入れした果樹を送ってあげる。そんなツアーを募集してもいい。今まで風合戦は白根町の人のものであったけど、「館」ができていろんな人が来るはずですよ。人間的なつながりが持てれば、田舎も都会も同じです。  
司会 次に商工業について考えてみてください。  
D 個々の商店の整備よりまちの整備が先だと思ふ。空間のあるまちづくりですね。ポプラ並木などは市外の人にはいいイメージを与えているのではないのでしょうか。  
G やる気のある若い人、元氣のある人が店を改装したりすると、とても光る。そういうものがきっかけになって商店街も変わっていくと思うんです。  
F 今の商店街ではウインドーショッピングの要素が欠けています。買い物に行っても店の人がじろじろ見られる。駐車場もない。商店街の協力で規模が小さくてもスーパーに負けないような施設を造るべきです。また白根市だけでなく近隣市町村の客もターゲットにしていかなければならないでしょう。  
A 今商工会、市民団体などがそれぞればらばらになってやっている。全体を取りまとめ

A 白根は輪中地帯ですから、近隣市町村との交流には橋や道路を通らなければなりません。ですから情報把握のためにも、まずは橋や道路などの整備がどうしても必要だし、大切だと思ふ。  
B 橋や道路などの整備は大切です。でも白根の橋や道路などには夢や潤いがないと思ふ。文化を感じさせる配慮をすべきです。例えば加茂市の加茂川の橋の欄干のような感じですね。これからの施設整備には文化を取り入れていくことが大事ではないでしょうか。  
C 私も、開発には白根らしさという潤いのある町並みを取り入れるべきだと思ふ。そのとき大切なのは大きな枠の中で考えることですね。開発してしまつてから、後追いで整備していくようではうまくいかないでしょう。  
D 白根市は開発についてアセスメント(影響評価)がなされていません。アセスメントがないとどんな施設を造ろうと、すべて無駄になります。  
E 白根の自然を生かして、景観の良い街づくりを進めてはどうでしょう。信濃川沿いに遊歩道を作るといったふうに。また国道8号の景観が悪すぎます。食糧基地と言われる白根にはふさわしくないような気がしますが、

F まちづくりは、まちの骨格を行政がつくって、そのまちの表情は市民がつくっていくのが基本の形だと思ふ。夢と潤いのある、市のイメージアップとなる施設を造って欲しいものです。  
G 白根の町で商売をしています。私は、現在の商店街には商工会ほか、いろんな団体がまちをおこしなどとお金を掛けても無駄だと思ふんです。むしろ高級住宅街にした方がいいかなと。逆に白根小学校や教育委員会、警察署の辺りに商業地域を形成していった方がいいような気がします。  
H 市の発展は人口の集積に掛かっています。人口を集積させ税収の拡大を図るべきです。白根市では農業をやりたい人は減っているのに、農地が農振法で保護されていて、住宅地や商業地に転用できません。農地であるため税収も少ない。税収アップのためには農地を宅地や商業地にすべきです。  
I 確かに白根市は農業地帯で農地が大切にされています。農家も土地を売りたいのに売ること



とができない。農地の見直しをする必要があります。  
J 高齢者に優良な農地を提供してもらえたら、高齢者がサツキやボケなどを作って楽しむことができます。それを通年で販売できるように施設があればいいと思ふ。  
K 白根市に人が根付くには働く場が必要です。私も白根生まれますが、今は新潟で働いています。若いお母さんたちを見ても、友達を求めて近郊に行つてみたい。交通の便が良いところか。人が少ないからお金も落ちない、税収も少なくなるんです。  
D 私は11年間大通に住んでいます。大通の住民の70%は白根市民という意識はありませんが、生活センターができて少しは住民意識が出てきたようですが、住民が白根市民という意識を持つ必要がありますね。  
H 今の白根市は農業が主体で、米の売り上げが元になっています。これからは減反をするくらいなら農地を経済開発した方がいい。そうしないと財布の中身が少なくなります。商店に

もお金は落ちません。より良い宅地を求めるとは他の市町村との競争がありますが、それは豊かなまちづくりを考えていけばいいと思ふ。  
司会 まちづくりということについてほかに意見はありますか。  
F 「自分のまちにはこんなものがある」と自信を持って言えるものが必要です。それは他の地域の人がイメージできるものであれば、なお良い。「杜の都仙台」みたいに。白根にも資源や財産はたくさんあります。例えば新飯田の横山酒造の再興は、もつと白根をPRしようという試み。白根にも資源、財産はたくさんあるんですから。  
L 市内全部に影響を及ぼす何か欲しい。それをもとにPRしていけたらいい。大風合戦は白根町のもの。今は全市民で参加できる何かが必要だと思ふ。  
K 大風合戦のあり方を考え直すべきだと思ふ。風は風任せ。外から来た人は、風が悪くて合戦が見れないと二度と来ません。合戦自体、白根町のものになっていきます。大風と歴史の館を活用すると大風のコンテストをするとか、新しい方法を考えていかなければならないでしょう。

司会 今後の白根市の開発や生活環境について意見を出していただきたいと思います。

司会 今後の白根市の開発や生活環境について意見を出していただきたいと思います。

司会 今後の白根市の開発や生活環境について意見を出していただきたいと思います。

※以上、市民フォーラム「まちづくりトーク」より抜粋